

(Windows 10 Version)

Excel-2016-03-関数



体系学習★初歩からの PC テキスト

第 01 章: 範囲名の利用	6
01 章 01 節… 名前の定義	6
01 章 02 節… [名前ボックス]を使って範囲名・名前の定義	7
01 章 03 節… 範囲名を使った計算式の作成 1	8
01 章 04 節… 範囲名を使った計算式の作成 2	10
01 章 05 節… 範囲名の編集	11
01 章 06 節… 範囲名と絶対参照/選択範囲から作成	14
01 章 07 節… 範囲名と絶対参照の研究	15
01 章 08 節… 名前の引用	16
01 章 09 節… 複数の範囲を持つ範囲名	18
01 章 10 節… 練習問題	20
第 02 章: 切り捨て・切り上げ・四捨五入	22
02 章 01 節… 切り捨て処理・ROUNDDOWN 関数の利用	22
02 章 02 節… 桁数にプラスの値(正の数)を指定する	23
02 章 03 節… 桁数にマイナスの値(負の数)を指定する	24
02 章 04 節… その他の桁数	25
02 章 05 節… ROUNDDOWN 関数とは(概要・らうんど だうん)	26
02 章 06 節… その他の処理方法: 切り上げ処理と四捨五入処理	26
02 章 07 節… ROUNDUP 関数と ROUND 関数(資料)	28
02 章 08 節… 練習問題	29
第 03 章: 論理式	31
03 章 01 節… 論理式とは・TRUE と FALSE/仮説の検証・判断	31
03 章 02 節… 基本的な論理式	31
03 章 03 節… 再計算	32
03 章 04 節… 左辺と右辺を結ぶ比較演算子の 6 パターン	33
03 章 05 節… 右辺を文字にする	34
03 章 06 節… 「以外」を作成する	34
03 章 07 節… NOT 関数	35
03 章 08 節… 空欄の際に TRUE とする/空欄の発見	36
03 章 09 節… 練習問題	37
第 04 章: IF 関数・1	40
04 章 01 節… IF 関数の準備と構想	40
04 章 02 節… IF 関数とは(概要・いふ)	41
04 章 03 節… IF 関数の効果	42
04 章 04 節… セルの指定と空白の指定	43
04 章 05 節… 数式の指定	44
04 章 06 節… 文字データの評価	45
04 章 07 節… 空白の検索	48
04 章 08 節… 練習問題	49
第 05 章: アンパサンド[&]と CONCATENATE 関数	51
05 章 01 節… &[アンパサンド]の使用	51

05章 02節	セルと文字データそのものを連結する	51
05章 03節	空白を付ける	52
05章 04節	CONCATENATE 関数	52
05章 05節	練習問題	53
第 06章	文字列操作関数	55
06章 01節	全角にする JIS 関数・半角にする ASC 関数	55
06章 02節	小文字にする LOWER 関数・大文字にする UPPER 関数	57
06章 03節	先頭文字のみを大文字にする PROPER 関数	59
06章 04節	左の一部を切り取る LEFT 関数・右の一部を切り取る RIGHT 関数	60
06章 05節	任意の位置から文字を抜き出す MID 関数	62
06章 06節	LEFT 関数・RIGHT 関数・MID 関数(概要)	63
06章 07節	文字数を数える LEN 関数	64
06章 08節	練習問題	65
第 07章	関数のネスト	67
07章 01節	復習：平均値を出してそれを切り捨てて処理する	67
07章 02節	関数のネスト	68
07章 03節	もう一度関数のネストをやってみる	71
07章 04節	利用関数の変更	74
07章 05節	練習問題	76
第 08章	複数の論理式-AND 関数・OR 関数	77
08章 01節	論理式の復習と確認	77
08章 02節	AND 関数の使用	77
08章 03節	AND 関数とは(概要)	80
08章 04節	OR 関数の利用	81
08章 05節	OR 関数とは(概要)	83
08章 06節	練習問題	84
第 09章	中間総合練習問題(省略可)	86
第 10章	COUNTIF 関数・1	89
10章 01節	COUNTIF 関数の利用	89
10章 02節	COUNTIF 関数とは(概要・かうんと いふ)	91
10章 03節	SUMIF 関数	92
10章 04節	SUMIF 関数とは(概要・さむ いふ)	94
10章 05節	AVERAGEIF 関数	95
10章 06節	練習問題	96
第 11章	IF 関数・2	99
11章 01節	3つの場合分け	99
11章 02節	4つ以上の場合分け	102
11章 03節	3つ以上の場合分け(まとめ)	104
11章 04節	AND 関数を論理式に採用する	104
11章 05節	OR 関数を論理式に採用する	106
11章 06節	練習問題	108

第 12 章: COUNTIF 関数・2 [あいまい検索].....	110
12 章 01 節… 引数がセル名である際の注意.....	110
12 章 02 節… [検索対称]にワイルドカード(*)を使う・～で始まる/終わる	112
12 章 03 節… [検索対称]に以上・以下を使う(>=/<=)	114
12 章 04 節… あいまい検索とセル参照の同時利用.....	115
12 章 05 節… AVERAGEIF 関数であいまい検索.....	117
12 章 06 節… 練習問題	120
第 13 章: VLOOKUP 関数・1 [近似値検索].....	121
13 章 01 節… VLOOKUP 関数の構想・ある値から別の値の割り出し.....	121
13 章 02 節… VLOOKUP 関数とは(概要・ふい るつくあつぶ)	122
13 章 03 節… VLOOKUP 関数で使用する対応表の作成	123
13 章 04 節… VLOOKUP 関数の使用.....	123
13 章 05 節… 作成の復習	125
13 章 06 節… 練習問題	126
第 14 章: VLOOKUP 関数・2 [完全一致検索].....	128
14 章 01 節… 従来どおりの VLOOKUP 関数	128
14 章 02 節… 近似値のテスト	129
14 章 03 節… 完全一致検索を採用する	132
14 章 04 節… 完全一致検索の効果	134
14 章 05 節… 完全一致検索の VLOOKUP 関数を作成	135
14 章 06 節… 完全一致検索の特徴/対応表のキー列(最左列)は文字でもよい	137
14 章 07 節… 完全一致検索の VLOOKUP 関数とは(概要)	138
14 章 08 節… 条件付き書式を使いエラー値を非表示にする	139
14 章 09 節… 練習問題	141
第 15 章: 総合練習問題(省略可).....	142

…  →操作説明

…  →補足説明

- 記載されている会社名、製品名は各社の商標および登録商標です。
- 本書の例題や画面などに登場する企業名や製品名、人名、キャラクター、その他のデータは架空のものです。現実の個人名や企業、製品、イベントを表すものではありません。
- 本文中には™,®マークは明記しておりません。
- 本書は著作権法上の保護を受けております。
- 本書の一部あるいは、全部について、合資会社アルファから文書による許諾を得ずに、いかなる方法においても無断で複製、複製することを禁じます。ただし合資会社アルファから文書による許諾を得た期間は除きます。
- 無断複製、転載は損害賠償、著作権法の罰則の対象になることがあります。
- この教材はMicrosoft Corporationのガイドラインに従って画面写真を使用しています。
 - ◆ Version No : excel-2016-03-関数-160717
 - ◆ 著作・製作 合資会社アルファ
〒244-0003 神奈川県横浜市戸塚区戸塚町 118-2 中山 NS ビル 6F
 - ◆ 発行人 三橋信彦
 - ◆ 定価 ー円

第01章:範囲名の利用

01章01節…名前の定義

(01)以下のような表を作成してください。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1													
2			東京支店	割合			大阪支店	割合			福岡支店	割合	
3		市川	¥1,100			工藤	¥4,200			馬場	¥1,900		
4		広瀬	¥700			山下	¥2,600			村木	¥2,400		
5		星野	¥5,000			岩瀬	¥1,400			木之下	¥1,800		
6						高野	¥900			熊沢	¥2,500		
7						江沢	¥3,400						
8						北岡	¥2,900						
9													
10		東京計				個人平均							
11		大阪計				総合計							
12		福岡計											
13													

(02)セル C3:C5 に「東京」という名前(範囲名)を設定します。選択してから【数式】[名前の定義]を使うと、セル範囲に特別な名前を付けて登録しておくことができます。

2. 【数式】[名前の定義]

1. C3:C5 を選択

(03)「C3:C5」を「東京」という名前で登録・OK しましょう。

「C3:C5」を範囲名「東京」で登録

(04)C3:C5 を選択していると画面左上の[名前ボックス]に「東京」と表示されます。

東京		1100	
A	B	C	D
1			
2		東京支店	割合
3	市川	¥1,100	
4	広瀬	¥700	
5	星野	¥5,000	
6			
7			
8			

C3:C5 を選択していると[名前ボックス]に範囲名である「東京」が表示される

(05)続けて G3:G8 に「大阪」という範囲名を付けてください。

大阪		4200	
A	B	C	D
1			
2		東京支店	割合
3	市川	¥1,100	
4	広瀬	¥700	
5	星野	¥5,000	
6			
7			
8			
9			
10	東京計		
11	大阪計		
12	福岡計		
13			

G3:G8 を「大阪」という範囲名で登録

01章02節…[名前ボックス]を使って範囲名・名前の定義

(01)今度は別の方法を用いて範囲名「福岡」を K3:K6 に設定します。

選択してから[名前ボックス]をクリックしてください。

K3 I		1900	
A	B	C	D
1			
2			
3	市川	¥1,100	
4	広瀬	¥700	
5	星野	¥5,000	
6			
7			
8			

2. 名前ボックスをクリック

1. K3:K6 を選択

(02)[名前ボックス]に「福岡」と入力してから確定・{Enter}します。

[名前ボックス]から[カーソル]が消えたら登録完了です。

福岡		1900	
A	B	C	D
1			
2		東京支店	割合
3	市川	¥1,100	
4	広瀬	¥700	
5	星野	¥5,000	
6			
7			
8			

[名前ボックス]に「福岡」と入力してから確定・{Enter}(カーソルが消えるまで)

(03)K3:K6 が範囲名「福岡」で登録されました。

福岡		1900	
A	B	C	D
1			
2		東京支店	割合
3	市川	¥1,100	
4	広瀬	¥700	
5	星野	¥5,000	
6			
7			
8			

カーソルが消えるまで {Enter}したら登録完了

(04)範囲名として登録されている場所は名前ボックスから簡単に[再選択]ができます。
範囲「大阪」を選択してみましょう。

	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
2		東京支店	割合			大阪支店	割合			福岡支店	割合	
3	市川	¥1,100			工藤	¥4,200			馬場	¥1,900		
4										¥2,400		
5										¥1,800		
6										¥2,500		
7					高野	¥900						
8					江沢	¥3,400						
9					北岡	¥2,900						

名前ボックスから範囲名「大阪」を選択

(05)範囲「大阪」が再選択されました。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1			東京支店	割合			大阪支店	割合			福岡支店	割合	
3		市川	¥1,100			工藤	¥4,200			馬場	¥1,900		
4		広瀬	¥700			山下	¥2,600			村木	¥2,400		
5		星野	¥5,000			岩瀬	¥1,400			木之下	¥1,800		
6						高野	¥900			熊沢	¥2,500		
7						江沢	¥3,400						
8						北岡	¥2,900						

[範囲名]を設定しておけば再選択が
たやすい(他のメリットは後述)

01章03節…範囲名を使った計算式の作成 1

(01)セル C10 に「=SUM(C3:C5)」を作成します。しかし Excel では「=SUM(東京)」
とすることもできるのです。「C3:C5=東京」で範囲を登録してあるからです。まずは
【数式】タブの[オート SUM][合計]ボタンで SUM 関数の作成を開始してみましょう。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
2			東京支店	割合			大阪支店	割合			福岡支店	割合	
3		市川	¥1,100			工藤	¥4,200			馬場	¥1,900		
4		広瀬	¥700			山下	¥2,600			村木	¥2,400		
5		星野	¥5,000			岩瀬	¥1,400			木之下	¥1,800		
6						高野	¥900			熊沢	¥2,500		
7						江沢	¥3,400						
8						北岡	¥2,900						
10		東京計											
11		大阪計											
12		福岡計											

2. 【数式】 [オート SUM][合計]

【ホーム】 タブから作成してもよい

1. セル C10 をアクティブに

(02)自動的に仮の範囲が選択されます。

SUM 関数のカッコ内は{Delete}キーで消してください。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
2			東京支店	割合			大阪支店	割合			福岡支店	割合	
3		市川	¥1,100			工藤	¥4,200			馬場	¥1,900		
4		広瀬	¥700			山下	¥2,600			村木	¥2,400		
5		星野	¥5,000			岩瀬	¥1,400			木之下	¥1,800		
6						高野	¥900			熊沢	¥2,500		
7						江沢	¥3,400						
8						北岡	¥2,900						
10		東京計	=SUM(C3:C9)			個人平均							
11		大阪計	[SUM(数値1, [数値2], ...)]			総合計							
12		福岡計											

SUM 関数のカッコ内を消去

(03)関数のカッコ内にカーソルがある状態で【数式】[数式で使用]をクリックすると登録されている範囲名の一覧が表示されます。ここで「東京」を選択しましょう。

SUM関数のカッコ内にカーソルがある状態で【数式】(定義された名前)[数式で使用]「東京」

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1													
2			東京支店	割合			大阪支店	割合			福岡支店	割合	
3		市川	¥1,100			工藤	¥4,200						
4		広瀬	¥700			山下	¥2,600						
5		星野	¥5,000			岩瀬	¥1,400						
6						高野	¥900						
7						江沢	¥3,400						
8						北岡	¥2,900						
9													
10		東京計	=SUM()			個人平均							
11		大阪計				総							
12		福岡計											

カッコの中に「東京」と直接入力してもよい

(04)「=SUM(東京)」が完成しました。{Enter}で確定しましょう。

「東京」 = 「C3:C5」

{Enter}で確定

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1													
2			東京支店	割合			大阪支店	割合			福岡支店	割合	
3		市川	¥1,100			工藤	¥4,200			馬場	¥1,900		
4		広瀬	¥700			山下	¥2,600						
5		星野	¥5,000			岩瀬	¥1,400						
6						高野	¥900						
7						江沢	¥3,400			熊沢	¥2,500		
8						北岡	¥2,900						
9													
10		東京計	=SUM(東京)			個人平均							
11		大阪計	=SUM(数値1, [数値2], ...)			総合計							
12		福岡計											

(05)「=SUM(東京)→6800」が算出されました。続けてセル C11 に「=SUM(大阪)」・セル C12 に「=SUM(福岡)」を作成してください。

セル C11 に「=SUM(大阪)」・セル C12 に「=SUM(福岡)」を作成


	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1													
2			東京支店	割合			大阪支店	割合			福岡支店	割合	
3		市川	¥1,100			工藤	¥4,200			馬場	¥1,900		
4		広瀬	¥700			山下	¥2,600			村木	¥2,400		
5		星野	¥5,000			岩瀬	¥1,400			木之下	¥1,800		
6						高野	¥900			熊沢	¥2,500		
7						江沢	¥3,400						
8						北岡	¥2,900						
9													
10		東京計	6800			個人平均							
11		大阪計				総合計							
12		福岡計											

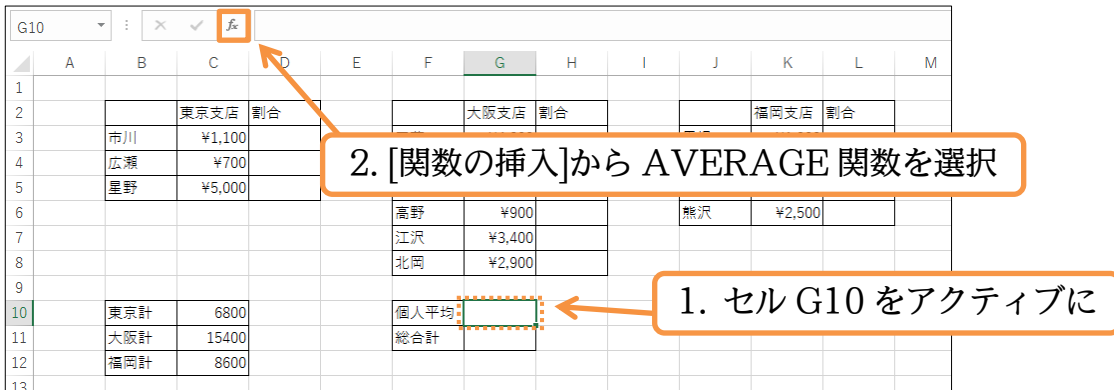
(06)「SUM・AVERAGE・MAX・MIN」といった集計関数の引数に[範囲名]を採用することができるのです。

セル C11 に「=SUM(大阪)」・セル C12 に「=SUM(福岡)」を作成

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1													
2			東京支店	割合			大阪支店	割合			福岡支店	割合	
3		市川	¥1,100			工藤	¥4,200			馬場	¥1,900		
4		広瀬	¥700			山下	¥2,600			村木	¥2,400		
5		星野	¥5,000			岩瀬	¥1,400			木之下	¥1,800		
6						高野	¥900			熊沢	¥2,500		
7						江沢	¥3,400						
8						北岡	¥2,900						
9													
10		東京計	6800			個人平均							
11		大阪計	15400			総合計							
12		福岡計	8600										

01章04節…範囲名を使った計算式の作成 2

(01)次は[関数の挿入]()⇒[関数の引数]ダイアログボックスを使ってセルG10(個人平均)に「=AVERAGE(東京,大阪,福岡)」を作成します。複数の範囲を使う際は範囲をカンマ「,」で区切ります。なお「=AVERAGE(C3:C5,G3:G8,K3:K6)」と同じ意味になります。

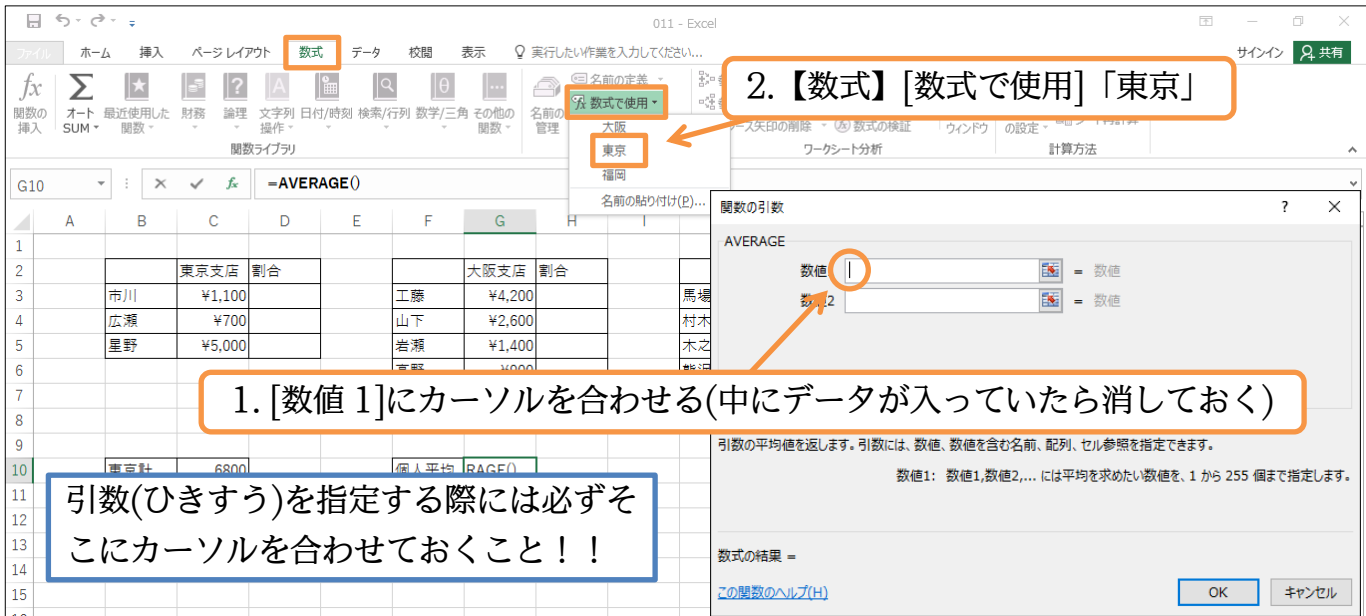


2. [関数の挿入]から AVERAGE 関数を選択

1. セル G10 をアクティブに

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1													
2			東京支店	割合			大阪支店	割合			福岡支店	割合	
3		市川	¥1,100										
4		広瀬	¥700										
5		皇野	¥5,000										
6						高野	¥900			熊沢	¥2,500		
7						江沢	¥3,400						
8						北岡	¥2,900						
9													
10		東京計	6800			個人平均							
11		大阪計	15400			総合計							
12		福岡計	8600										
13													

(02)引数[数値 1]にカーソルを合わせて【数式】[数式で使用]「東京」を選択します。



2. 【数式】[数式で使用]「東京」

1. [数値 1]にカーソルを合わせる(中にデータが入っていたら消しておく)

引数(ひきすう)を指定する際には必ずここにカーソルを合わせておくこと！！

AVERAGE

数値1: 東京

数値2:

= {1100;700;5000}

= 数値

= 2266.666667

引数の平均値を返します。引数には、数値、数値を含む名前、配列、セル参照を指定できます。

数値1: 数値1,数値2,...には平均を求めたい数値を、1から255個まで指定します。

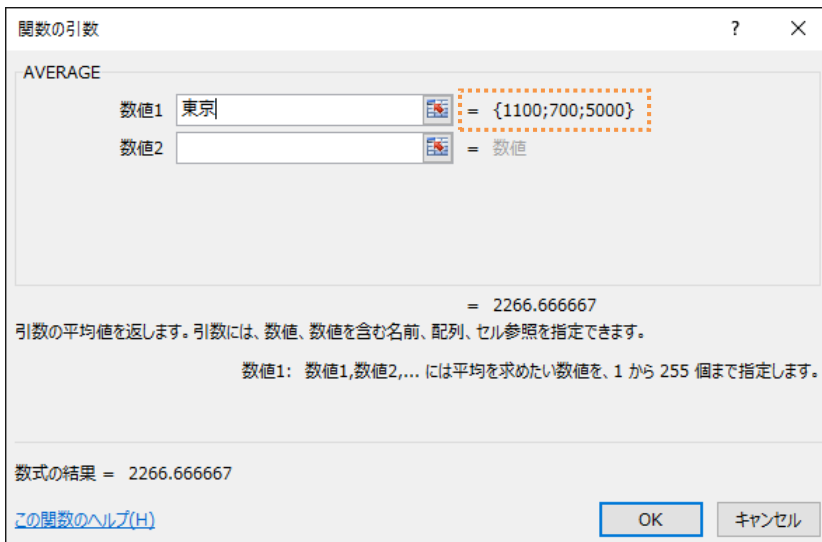
数式的結果 = 2266.666667

[この関数のヘルプ\(H\)](#)

OK キャンセル

(03)[数値 1]が「東京」になりました。

なお「東京」は数値群「1100;700;5000」のことでありと右側に表示されます。



関数の引数

AVERAGE

数値1: 東京

数値2:

= {1100;700;5000}

= 数値

= 2266.666667

引数の平均値を返します。引数には、数値、数値を含む名前、配列、セル参照を指定できます。

数値1: 数値1,数値2,...には平均を求めたい数値を、1から255個まで指定します。

数式的結果 = 2266.666667

[この関数のヘルプ\(H\)](#)

OK キャンセル

(04)他の引数も指定します。[数値 2]を「大阪」・[数値 3]を「福岡」にします。
設定後は OK します。

関数の引数

AVERAGE

数値1 東京 = {1100;700;5000}

数値2 大阪 = {4200;2600;1400;900;3400;2900}

数値3 福岡 = {1900;2400;1800;2500}

数値4 = 数値

= 2369.230769

引数の平均値を返します。引数には、数値、数値を含む名前、配列、セル参照を指定できます。

[数値 2]を「大阪」・[数値 3]を「福岡」に

数式の結果 = 2369.230769

[この関数のヘルプ\(H\)](#) OK キャンセル

(05)「=AVERAGE(東京,大阪,福岡)」が作成されました。
各引数は「,」で区切られています。

G10		=AVERAGE(東京,大阪,福岡)													
	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M		
1															
2			東京支店	割合			大阪支店	割合			福岡支店	割合			
3		市川	¥1,100			工藤	¥4,200			馬場	¥1,900				
4		広瀬	¥700			山下	¥2,600			村木	¥2,400				
5		星野	¥5,000			岩瀬	¥1,400			木之下	¥1,800				
6						高野	¥900			熊沢	¥2,500				
7						江沢	¥3,400								
8						北岡	¥2,900								
9															
10		東京計	6800			個人平均	2369.231								
11		大阪計	15400			総合計									
12		福岡計	8600												
13															

(06)セル G11 には「=SUM(東京,大阪,福岡)」を作成しましょう。

G11		=SUM(東京,大阪,福岡)													
	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M		
1															
2			東京支店	割合			大阪支店	割合			福岡支店	割合			
3		市川	¥1,100			工藤	¥4,200			馬場	¥1,900				
4		広瀬	¥700			山下	¥2,600			村木	¥2,400				
5		星野	¥5,000			岩瀬	¥1,400			木之下	¥1,800				
6						高野	¥900			熊沢	¥2,500				
7						江沢	¥3,400								
8						北岡	¥2,900								
9															
10		東京計	6800			個人平均	2369.231								
11		大阪計	15400			総合計	30800								
12		福岡計	8600												
13															

セル G11 に「=SUM(東京,大阪,福岡)」を作成

01章05節…範囲名の編集

(01)東京支店と福岡支店にデータを追加してください。

A1															
	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M		
1															
2			東京支店	割合			大阪支店	割合			福岡支店	割合			
3		市川	¥1,100			工藤	¥4,200			馬場	¥1,900				
4		広瀬	¥700			山下	¥2,600			村木	¥2,400				
5		星野	¥5,000			岩瀬	¥1,400			木之下	¥1,800				
6		山川	¥2,500			高野	¥900			熊沢	¥2,500				
7		輪島	¥1,100			江沢	¥3,400			本橋	¥1,900				
8						北岡	¥2,900								
9															
10		東京計	6800			山川	¥2,500			本橋	¥1,900				
11		大阪計	15400			輪島	¥1,100								
12		福岡計	8600												
13															

(02)範囲名「東京」と「福岡」の範囲(参照範囲)を拡張します。

【数式】 タブの[名前の管理]で参照範囲を変更できます。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1													
2			東京支店	割合			大阪支店	割合			福岡支店	割合	
3		市川	¥1,100			工藤	¥4,200			馬場	¥1,900		
4		広瀬	¥700			山下	¥2,600			村木	¥2,400		
5		星野	¥5,000			岩瀬	¥1,400			木之下	¥1,800		
6		山川	¥2,500			高野	¥900			熊沢	¥2,500		
7		輪島	¥1,100			江沢	¥3,400			本橋	¥1,900		
8						北岡	¥2,900						
9													
10		東京計	6800			個人平均	2369.231						
11		大阪計	15400			総合計	30800						
12		福岡計	8600										
13													

(03)「東京」を[編集]します。

名前	値	参照範囲	範囲	コメント
大阪	{ "¥4,200"; "¥2,600"; "¥1,400"; "¥900"; "¥3,400"; "¥2,900" }	=Sheet1!\$G\$3:\$G\$8	ブック	
東京	{ "¥1,100"; "¥700"; "¥5,000"; "¥2,500"; "¥1,100" }	=Sheet1!\$C\$3:\$C\$7	ブック	
福岡	{ "¥1,900"; "¥2,400"; "¥1,800"; "¥2,500"; "¥1,900" }	=Sheet1!\$K\$3:\$K\$7	ブック	

参照範囲(R): =Sheet1!\$C\$3:\$C\$5

(04)まずは[参照範囲]を消去(Delete)してください。

名前の編集

名前(N): 東京

範囲(S): ブック

コメント(O):

参照範囲(R): =Sheet1!\$C\$3:\$C\$5

OK キャンセル

名前の編集

名前(N): 東京

範囲(S): ブック

コメント(O):

参照範囲(R):

OK キャンセル

(05)「C3:C7」を参照範囲に指定してOKします。

参照範囲に「C3:C7」を登録

東京支店	割合	大阪支店	割合
市川	¥1,100	工藤	¥4,200
広瀬	¥700	山下	¥2,600
星野	¥5,000	岩瀬	¥1,400
山川	¥2,500	高野	¥900
輪島	¥1,100	北岡	¥2,900
東京計	6800	個人平均	2369,231
大阪計	15400	総合計	30800
福岡計	8600		

(06)「東京」の参照範囲が「C3:C5」から「C3:C7」になりました。

名前	値	参照範囲	範囲	コメント
大阪	{"¥4,200";"¥2,...	=Sheet1!\$G\$...	ブック	
東京	{"¥1,100";"¥7...	=Sheet1!\$C\$...	ブック	
福岡	{"¥1,900";"¥2,...	=Sheet1!\$K\$...	ブック	

参照範囲(R):
=Sheet1!\$C\$3:\$C\$7

(07)今度は「福岡」の参照範囲を「K3:K7」に修正します。この画面からも[参照範囲]を修正できます。画面下のボックスで修正してからチェックボタン(✓)をクリックします。修正が完了したらボックスを閉じます。

1. 「福岡」を選択

2. 参照範囲を「K3:K7」に修正

3. (✓)

名前	値	参照範囲	範囲	コメント
大阪	{"¥4,200";"¥2,...	=Sheet1!\$G\$...	ブック	
東京	{"¥1,100";"¥7...	=Sheet1!\$C\$...	ブック	
福岡	{"¥1,900";"¥2,...	=Sheet1!\$K\$...	ブック	

参照範囲(R):
=Sheet1!\$K\$3:\$K\$7

(08)範囲名「東京,福岡」を使っていた計算セルが更新されます(「大阪計」のみ無関係)。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1													
2			東京支店	割合			大阪支店	割合			福岡支店	割合	
3		市川	¥1,100			工藤	¥4,200			馬場	¥1,900		
4		広瀬	¥700			山下	¥2,600			村木	¥2,400		
5		星野	¥5,000			岩瀬	¥1,400			木之下	¥1,800		
6		山川	¥2,500			高野	¥900			熊沢	¥2,500		
7		輪島	¥1,100			江沢	¥3,400			本橋	¥1,900		
8						北岡	¥2,900						
9													
10		東京計	10400			個人平均	2268.75						
11		大阪計	15400			総合計	36300						
12		福岡計	10500										
13													

01章06節…範囲名と絶対参照/選択範囲から作成

(01)セル D3 に「市川」さんの「東京計」内における割合(構成比・1100/10400)を算出します。「=C3/C10」を作成します。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1													
2			東京支店	割合			大阪支店	割合			福岡支店	割合	
3		市川	¥1,100	=C3/C10		工藤	¥4,200			馬場	¥1,900		
4		広瀬	¥700			山下	¥2,600			村木	¥2,400		
5		星野	¥5,000			岩瀬	¥1,400			木之下	¥1,800		
6		山川	¥2,500			高野	¥900						
7		輪島	¥1,100			江沢	¥3,400			本橋	¥1,900		
8						北岡	¥2,900						
9													
10		東京計	10400			個人平均	2268.75						
11		大阪計	15400			総合計	36300						
12		福岡計	10500										
13													

(02)表示形式を「%・小数点1桁」にします。またコピーする際には常に C10 と比較させる必要があるので絶対参照の設定をします。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1													
2			東京支店	割合			大阪支店	割合			福岡支店	割合	
3		市川	¥1,100	10.6%		工藤	¥4,200			馬場	¥1,900		
4		広瀬	¥700			山下	¥2,600			村木	¥2,400		
5		星野	¥5,000			岩瀬	¥1,400			木之下	¥1,800		
6		山川	¥2,500			高野	¥900						
7		輪島	¥1,100			江沢	¥3,400			本橋	¥1,900		
8						北岡	¥2,900						
9													
10		東京計	10400			個人平均	2268.75						
11		大阪計	15400			総合計	36300						
12		福岡計	10500										
13													

(03)D3 の式を D7 までコピーします。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1													
2			東京支店	割合			大阪支店	割合			福岡支店	割合	
3		市川	¥1,100	10.6%		工藤	¥4,200			馬場	¥1,900		
4		広瀬	¥700	6.7%		山下	¥2,600			村木	¥2,400		
5		星野	¥5,000	48.1%		岩瀬	¥1,400			木之下	¥1,800		
6		山川	¥2,500	24.0%		高野	¥900						
7		輪島	¥1,100	10.6%		江沢	¥3,400			本橋	¥1,900		
8						北岡	¥2,900						
9													
10		東京計	10400			個人平均	2268.75						
11		大阪計	15400			総合計	36300						
12		福岡計	10500										
13													

(04)ここで「C10→東京計」「C11→大阪計」「C12→福岡計」という範囲名を付けます。範囲名にはそれぞれの左のセルのデータ(B列)を利用します。B10:C12 を選択して、【数式】[選択範囲から作成]を使います。入力済みの項目名が範囲名の登録に利用できるのです。

2. 【数式】 [選択範囲から作成]

1. B10:C12 を選択

「範囲名に使いたいセル(項目)」「範囲名を付けるセル」をセットで選択する

	東京支店	割合		大阪支店	割合		福岡支店	割合
市川	¥1,100	10.6%		工藤	¥4,200		馬場	¥1,900
広瀬	¥700	6.7%		山下	¥2,600		村木	¥2,400
星野	¥5,000	48.1%		岩瀬	¥1,400		木之下	¥1,800
山川	¥2,500	24.0%		高野	¥900		熊沢	¥2,500
輪島	¥1,100	10.6%		江沢	¥3,400		本橋	¥1,900
				北岡	¥2,900			
東京計	10400			個人平均	2268.75			
大阪計	15400			総合計	36300			
福岡計	10500							

(05)左側の列(B列)を範囲の名前として利用させます。

「左端列」にチェックがある状態でOKします。

これで
C10→東京計
C11→大阪計
C12→福岡計
という範囲名が付けられた

01章07節…範囲名と絶対参照の研究

(01)セル H3 に「=G3/大阪計(C11)」の計算式を作成しましょう。

表示形式は下図のように調整します。

【=G3/大阪計(C11)】

【4200/15400】 → 27.3%

	東京支店	割合		大阪支店	割合		福岡支店	割合
市川	¥1,100	10.6%		工藤	¥4,200	27.3%	馬場	¥1,900
広瀬	¥700	6.7%		山下	¥2,600		村木	¥2,400
星野	¥5,000	48.1%		岩瀬	¥1,400		木之下	¥1,800
山川	¥2,500	24.0%		高野	¥900		熊沢	¥2,500
輪島	¥1,100	10.6%		江沢	¥3,400		本橋	¥1,900
				北岡	¥2,900			
東京計	10400			個人平均	2268.75			
大阪計	15400			総合計	36300			
福岡計	10500							

(02)これを H8 までコピーしましょう。数式の中で範囲名を使っている場合には、その個所の絶対参照は不要です。必ずその範囲が参照されます。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1													
2			東京支店	割合			大阪支店	割合			福岡支店	割合	
3		市川	¥1,100	10.6%		工藤	¥4,200	27.3%		馬場	¥1,900		
4		広瀬	¥700	6.7%		山下	¥2,600	16.9%		村木	¥2,400		
5		星野	¥5,000	48.1%		岩瀬	¥1,400	9.1%		木之下	¥1,800		
6		山川	¥2,500	24.0%		高野	¥900	5.8%		熊沢	¥2,500		
7		輪島	¥1,100	10.6%		江沢	¥3,400	22.1%					
8						北岡	¥2,900	18.8%					
9													
10		東京計	10400			個人平均	2268.75						
11		大阪計	15400										
12		福岡計	10500										
13													

H3 の式を H8 までコピー

範囲名を使っているので絶対参照は不要

(03)同様に L 列にも福岡支店の割合(構成比)を出してみましょう。分母である C12 には範囲名が設定されているため絶対参照を考慮する必要はありません。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1													
2			東京支店	割合			大阪支店	割合			福岡支店	割合	
3		市川	¥1,100	10.6%		工藤	¥4,200	27.3%		馬場	¥1,900	18.1%	
4		広瀬	¥700	6.7%		山下	¥2,600	16.9%		村木	¥2,400	22.9%	
5		星野	¥5,000	48.1%		岩瀬	¥1,400	9.1%		木之下	¥1,800	17.1%	
6		山川	¥2,500	24.0%		高野	¥900	5.8%		熊沢	¥2,500	23.8%	
7		輪島	¥1,100	10.6%		江沢	¥3,400	22.1%		本橋	¥1,900	18.1%	
8						北岡	¥2,900	18.8%					
9													
10		東京計	10400			個人平均	2268.75						
11		大阪計	15400			総合計	36300						
12		福岡計	10500										
13													

L3:L7 にも割合(構成比)を出

01章08節…名前の引用

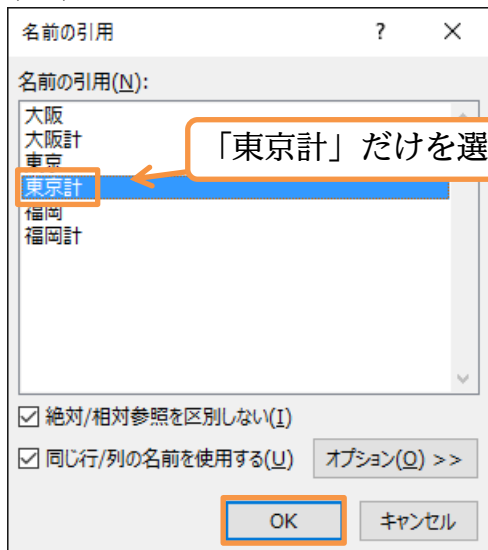
(01)D3:D7 には、各 C 列の値を「C10」で割った式が入力されています。これらを範囲名「東京計」で割った式に一括で変更してみます(意味は同じ)。
選択してから【数式】タブの[名前の定義][名前の引用]を用います。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1													
2			東京支店	割合			大阪支店	割合			福岡支店	割合	
3		市川	¥1,100	10.6%		工藤	¥4,200	27.3%		馬場	¥1,900	18.1%	
4		広瀬	¥700	6.7%		山下	¥2,600	16.9%		村木	¥2,400	22.9%	
5		星野	¥5,000	48.1%		岩瀬	¥1,400	9.1%		木之下	¥1,800	17.1%	
6		山川	¥2,500	24.0%		高野	¥900	5.8%		熊沢	¥2,500	23.8%	
7		輪島	¥1,100	10.6%		江沢	¥3,400	22.1%		本橋	¥1,900	18.1%	
8						北岡	¥2,900	18.8%					
9													
10		東京計	10400			個人平均	2268.75						
11		大阪計	15400			総合計	36300						
12		福岡計	10500										
13													

2. 【数式】[名前の定義][名前の引用]

1. D3:D7 を選択

(02)「C10」を「東京計」に変更します。「東京計」だけを選択した状態にしてOKします。

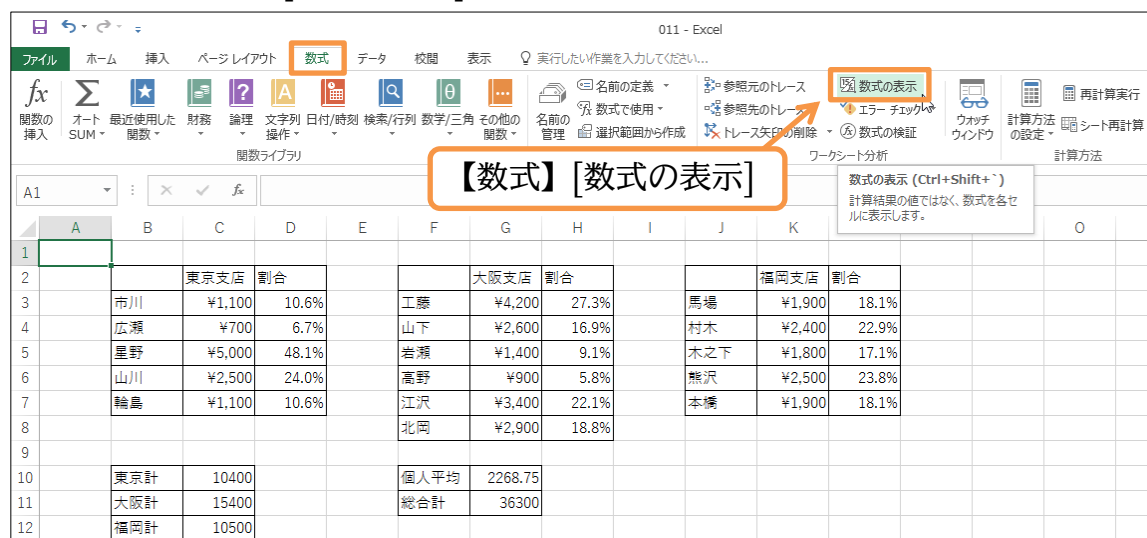


(03)D3:D7の計算式内にあった「C10」が「東京計」に変わりました。

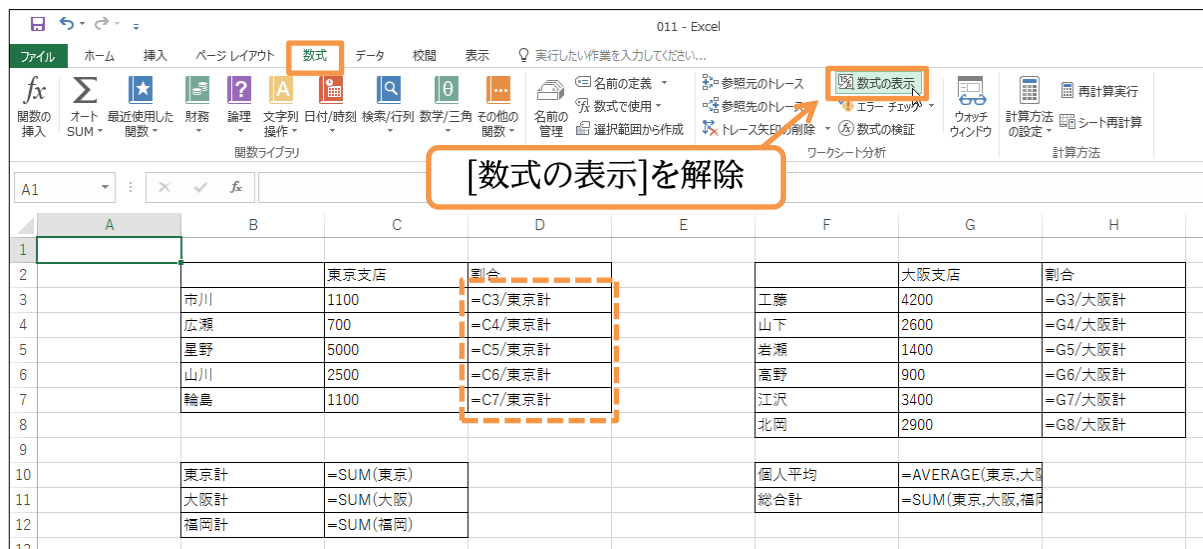
	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1													
2			東京支店	割合									
3		市川	¥1,100	10.6%		工藤	¥4,200	27.3%		馬場	¥1,900	18.1%	
4		広瀬	¥700	6.7%		山下	¥2,600	16.9%		村木	¥2,400	22.9%	
5		星野	¥5,000	48.1%		岩瀬	¥1,400	9.1%		木之下	¥1,800	17.1%	
6		山川	¥2,500	24.0%		高野	¥900	5.8%		熊沢	¥2,500	23.8%	
7		輪島	¥1,100	10.6%		江沢	¥3,400	22.1%		本橋	¥1,900	18.1%	
8						北岡	¥2,900	18.8%					
9													
10		東京計	10400			個人平均	2268.75						
11		大阪計	15400			総合計	36300						
12		福岡計	10500										
13													

(04)ここですべての計算セルの数式を一括でチェックしてみます。

【数式】タブの[数式の表示]をクリックします。



(05)すべての計算セルにおいて「計算結果」ではなく「数式」が表示されるようになりました。これを解除して「計算結果」が表示される状態に戻しましょう。



01章09節…複数の範囲を持つ範囲名

(01)福岡に分店ができました。J9:L11 に以下の表を追加してください。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1													
2			東京支店	割合			大阪支店	割合			福岡支店	割合	
3		市川	¥1,100	10.6%		工藤	¥4,200	27.3%		馬場	¥1,900	18.1%	
4		広瀬	¥700	6.7%		山下	¥2,600	16.9%		村木	¥2,400	22.9%	
5		星野	¥5,000	48.1%		岩瀬	¥1,400	9.1%		木之下	¥1,800	17.1%	
6		山川	¥2,500	24.0%		高野	¥900	5.8%		熊沢	¥2,500	23.8%	
7		輪島	¥1,100	10.6%		江沢	¥3,400	22.1%		本橋	¥1,900	18.1%	
8													
9													
10													
11													
12													
13													

(02)範囲名「福岡」に K10:K11 を追加します。【数式】[名前の管理]を使います。

011 - Excel

ファイル ホーム 挿入 ページレイアウト **数式** データ 校閲 表示 実行したい作業を入力してください...

fx 関数の挿入 オートSUM 最近使用した関数 財務 論理 文字列 日付/時刻 検索/行列 数学/三角 その他の関数 名前管理 名前定義 数式で使用する 選択範囲から作成 トレース先の削除 数式の検証 エラーチェック ウォッチウインドウ 計算方法の設定 シート再計算 計算方法

ワークシート分析

A1

【数式】[名前の管理]

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1													
2			東京支店	割合			大阪支店	割合			福岡支店	割合	
3		市川	¥1,100	10.6%		工藤	¥4,200	27.3%		馬場	¥1,900	18.1%	
4		広瀬	¥700	6.7%		山下	¥2,600	16.9%		村木	¥2,400	22.9%	
5		星野	¥5,000	48.1%		岩瀬	¥1,400	9.1%		木之下	¥1,800	17.1%	
6		山川	¥2,500	24.0%		高野	¥900	5.8%		熊沢	¥2,500	23.8%	
7		輪島	¥1,100	10.6%		江沢	¥3,400	22.1%		本橋	¥1,900	18.1%	
8						北岡	¥2,900	18.8%					
9													
10		東京計	10400			個人平均	2268.75			福岡分店	割合		
11		大阪計	15400							高山	¥3,500		
12		福岡計	10500							木原	¥2,200		
13													

(03)「福岡」を選択してから[参照範囲]の末尾にカーソルを置きます。その状態で[Ctrl]キーを押しながら K10:K11 を選択すると追加登録されます。あとはチェック(✓)をしてからダイアログボックスを閉じましょう。

1. 「福岡」を選択

2. [参照範囲]で[Ctrl]キーを押しながら K10:K11 を選択し、追加登録

福岡支店			割合
馬場	¥1,900		18.1%
村木	¥2,400		22.9%
木之下	¥1,800		17.1%
熊沢	¥2,500		23.8%
本橋	¥1,900		18.1%

福岡分店			割合
高山	¥3,500		
木原	¥2,200		

(04)範囲名「福岡」を使っていた計算セルの値が更新されます。

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1												
2		東京支店	割合			大阪支店	割合			福岡支店	割合	
3		市川	¥1,100	10.6%		工藤	¥4,200	27.3%		馬場	¥1,900	11.7%
4		広瀬	¥700	6.7%		山下	¥2,600	16.9%		村木	¥2,400	14.8%
5		星野	¥5,000	48.1%		岩瀬	¥1,400	9.1%		木之下	¥1,800	11.1%
6		山川	¥2,500	24.0%		高野	¥900	5.8%		熊沢	¥2,500	15.4%
7		輪島	¥1,100	10.6%		江沢	¥3,400	22.1%		本橋	¥1,900	11.7%
8						北岡	¥2,900	18.8%				
9										福岡分店	割合	
10		東京計	10400			個人平均	2333.333			高山	¥3,500	
11		大阪計	15400			総合計	42000			木原	¥2,200	
12		福岡計	16200									

(05)L10:L11にも割合(構成比)の計算式を設定しましょう。

完成後はこのファイルは閉じましょう(必要に応じて保存)

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1												
2		東京支店	割合			大阪支店	割合			福岡支店	割合	
3		市川	¥1,100	10.6%		工藤	¥4,200	27.3%		馬場	¥1,900	11.7%
4		広瀬	¥700	6.7%		山下	¥2,600	16.9%		村木	¥2,400	14.8%
5		星野	¥5,000	48.1%		岩瀬	¥1,400	9.1%		木之下	¥1,800	11.1%
6		山川	¥2,500	24.0%		高野	¥900	5.8%		熊沢	¥2,500	15.4%
7		輪島	¥1,100	10.6%		江沢	¥3,400	22.1%		本橋	¥1,900	11.7%
8						北岡	¥2,900	18.8%				
9										福岡分店	割合	
10		東京計	10400			個人平均	2333.333			高山	¥3,500	21.6%
11		大阪計	15400			総合計	42000			木原	¥2,200	13.6%
12		福岡計	16200									

L10:L11にも割合(構成比)の計算式を設定

01章10節…練習問題

(01)C4:C12 には「小型台数」・D4:D12 には「小型金額」・F4:F12 には「大型台数」・G4:G12 には「大型金額」という範囲名を設定してください。設定した範囲名を使ってK列に各合計を算出します。

続けてK3に「小型金額計」・K6に「大型金額計」という範囲名を設定します。設定した範囲名を使って小型・大型別の金額構成比を算出します。また「鎌倉店」の情報を追加します。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
1												
2		小型テレビ			大型テレビ					小型台数計	831	
3		販売台数	販売金額	金額構成比	販売台数	販売金額	金額構成比			小型金額計	¥47,905,000	
4	川崎店	131	¥4,847,000		32	¥5,664,000				大型台数計	316	
5	横浜店	215	¥18,170,000		84	¥12,600,000				大型金額計	¥54,762,000	
6	戸塚店	187	¥10,285,000		50	¥9,200,000						
7	大船店	78	¥3,588,000		52	¥8,580,000						
8	横須賀店	65	¥3,575,000		40	¥8,800,000						
9	藤沢店	155	¥7,440,000		58	¥9,918,000						
10												
11												
12												
13												

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
1												
2		小型テレビ			大型テレビ					小型台数計	922	
3		販売台数	販売金額	金額構成比	販売台数	販売金額	金額構成比			小型金額計	¥54,475,000	
4	川崎店	131	¥4,847,000	8.9%	32	¥5,664,000	9.1%			大型台数計	364	
5	横浜店	215	¥18,170,000	33.4%	84	¥12,600,000	20.1%			大型金額計	¥62,579,000	
6	戸塚店	187	¥10,285,000	18.9%	50	¥9,200,000	14.7%					
7	大船店	78	¥3,588,000	6.6%	52	¥8,580,000	13.7%					
8	横須賀店	65	¥3,575,000	6.6%	40	¥8,800,000	14.1%					
9	藤沢店	155	¥7,440,000	13.7%	58	¥9,918,000	15.8%					
10	鎌倉店	91	¥6,570,000	12.1%	48	¥7,817,000	12.5%					
11				0.0%			0.0%					
12				0.0%			0.0%					
13												

(02)C3:C6 には「東京会員数」・C9:C10 には「千葉会員数」・C13:C16 には「神奈川会員数」という範囲名を付けて計算表を作成します。完成後は右のように「町田」「船橋」「藤沢」を追加・修正します。また1店舗あたりの平均会員数も表示させます。

	A	B	C	D	E	F	G	H
1								
2		店舗	東京会員数		店舗数	会員数		
3		品川	41	東京	4	105		
4		新橋	22	千葉	2	45		
5		目白	7	神奈川	3	127		
6		三田	35					
7								
8		店舗	千葉会員数					
9		成田	15					
10		幕張	30					
11								
12		店舗	神奈川会員数					
13		大船	22					
14		小田原	55					
15		川崎	50					
16								

	A	B	C	D	E	F	G	H
1								
2		店舗	東京会員数		店舗数	会員数		
3		品川	41	東京	5	123		
4		新橋	22	千葉	3	93		
5		町田	18	神奈川	4	154		
6		目白	7					
7		三田	35					
8								
9		店舗	千葉会員数					
10		成田	15					
11		船橋	48					
12		幕張	30					
13								
14		店舗	神奈川会員数					
15		大船	22					
16		小田原	55					
17		川崎	50					
18		藤沢	27					
19								

(03)「平均点との差」は「全メンバー・平均点」との差です。絶対参照を使わず、範囲名を有効活用することで下記の計算表を完成させましょう。完成後は下のように「三組」のデータを追加します。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
1											
2		一組男子					二組男子				
3		No.	名前	得点	平均点との差		No.	名前	得点	平均点との差	
4		1	和泉	65	6.1		1	太田	40	-18.9	
5		2	遠藤	97	38.1		2	佐々木	75	16.1	
6		3	加藤	51	-7.9		3	師岡	54	-4.9	
7		4	坂	14	-44.9						
8											
9		一組女子					二組女子				
10		No.	名前	得点	平均点との差		No.	名前	得点	平均点との差	
11		1	庄司	61	2.1		1	酒井	69	10.1	
12		2	千葉	41	-17.9		2	星	93	34.1	
13		3	土屋	38	-20.9		3	牛島	55	-3.9	
14		4					4	荒井	71	12.1	
15											
16		全メンバー			一組						
17		平均点	58.9		平均点	52.4					
18		最高点	97		最高点	97					
19		最低点	14		最低点	14					
20											
21		男子			二組						
22		平均点	56.6		平均点	65.3					
23		最高点	97		最高点	93					
24		最低点	14		最低点	40					
25											
26		女子									
27		平均点	61.1								
28		最高点	93								
29		最低点	38								
30											



	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P
1																
2		一組男子					二組男子					三組男子				
3		No.	名前	得点	平均点との差		No.	名前	得点	平均点との差		No.	名前	得点	平均点との差	
4		1	和泉	65	5.5		1	太田	40	-19.5		1	井上	49	-10.5	
5		2	遠藤	97	37.5		2	佐々木	75	15.5		2	八木田	75	15.5	
6		3	加藤	51	-8.5		3	師岡	54	-5.5		3	遠山	68	8.5	
7		4	坂	14	-45.5											
8																
9		一組女子					二組女子					三組女子				
10		No.	名前	得点	平均点との差		No.	名前	得点	平均点との差		No.	名前	得点	平均点との差	
11		1	庄司	61	1.5		1	酒井	69	9.5		1	青木	37	-22.5	
12		2	千葉	41	-18.5		2	星	93	33.5		2	上田	49	-10.5	
13		3	土屋	38	-21.5		3	牛島	55	-4.5		3	島岡	88	28.5	
14		4					4	荒井	71	11.5						
15																
16		全メンバー			一組											
17		平均点	59.5		平均点	52.4										
18		最高点	97		最高点	97										
19		最低点	14		最低点	14										
20																
21		男子			二組											
22		平均点	58.8		平均点	65.3										
23		最高点	97		最高点	93										
24		最低点	14		最低点	40										
25																
26		女子			三組											
27		平均点	60.2		平均点	61.0										
28		最高点	93		最高点	88										
29		最低点	37		最低点	37										
30																

第02章:切り捨て・切り上げ・四捨五入

02章01節…切り捨て処理・ROUNDDOWN 関数の利用

(01)次のような計算表を作成しましょう。

C 列の値は B 列の値の 7.5%(0.075 倍したものです)。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1									
2		購入金額	ポイント	処理0	処理1	処理-1	処理十の位A	処理十の位B	
3		15485	1161.375						
4		702	52.650						
5		7850	588.750						
6		13635	1022.625						
7		940	70.500						
8		3465	259.875						
9		19467	1460.025						
10									

(02)C 列の値を整数化させて D 列に表示させます。小数点以下の端数は切り捨てます。使用するのは ROUNDDOWN 関数です。D3 をアクティブにして[関数の挿入]をクリックしてください。

(03)[関数の分類]を「すべて表示」にし「ROUNDDOWN」関数を選択してください。

(04)[数値]には「C3」(1161.375)を用います。端数処理したい数値が入力されているセルを指定するのです。[桁数]には「0」を入力してOKします。小数点以下を処理して整数化するには[桁数]「0」を採用するのです。

関数の引数

ROUNDOWN

数値 C3 = 1161.375

桁数 0 = 0

= 1161

数値を切り捨てます。

桁数 には数値を切り捨てた結果の桁数を指定します。桁数に負の数を指定すると、数値は小数点の左 (整数部分) の指定した桁 (1 の位を 0 とする) に切り捨てられ、0 を指定するかまたは省略されると、最も近い整数に切り捨てられます。

数式の結果 = 1161

[この関数のヘルプ\(H\)](#) OK キャンセル

(05)D3 の結果を D9 までコピーしましょう。

それぞれの値が小数点以下で切り捨て処理・整数化されたことがわかります。

D3 の式を D9 までコピー

02章02節…桁数にプラスの値(正の数)を指定する

(01)各ポイントに対して切り捨て処理した結果を E 列(処理 1)にも表示させます。ただし小数点 1 桁目は残して 2 桁目以降を処理します。ROUNDOWN 関数を使用するということは同じです。E3 をアクティブにしてから ROUNDOWN 関数の作成を開始してください。

1. E3 をアクティブに

2. [関数の挿入]より ROUNDOWN 関数を選択

(02)先ほどと同様に[数値]へは「C3」を採用します。小数点何桁まで残して、それより後进行处理するかを[桁数]欄に指定します。小数点1桁まで残すので「1」と指定してOKしてください。

[数値]に「C3」・[桁数]に「1」を指定

	A	B	C	D	E	F	G
1							
2		購入金額	ポイント	処理0	処理1	処理-1	
3		15485	1161.375	1161.000	N(C3,1)		
4		702	52.650	52.000			
5		7850	588.750	588.000			
6		13635	1022.625	1022.000			
7		940	70.500	70.000			
8		3465	259.875	259.000			
9		19467	1460.025	1460.000			

(03)E3 に作成された式を E9 までコピーしましょう。

[桁数：1]では小数点2桁以下が処理されて小数点1桁目までが残ります。

小数点何桁まで残すのか?を[桁数]に指定する。「0」を指定すると整数化。

	A	B	C	D	E	F	G	H
1								
2		購入金額	ポイント	処理0	処理1	処理-1	処理十の位A	処理十の位B
3		15485	1161.375	1161.000	1161.300			
4		702	52.650	52.000	52.600			
5		7850	588.750	588.000	588.700			
6		13635	1022.625	1022.000	1022.600			
7		940	70.500	70.000	70.500			
8		3465	259.875	259.000	259.800			
9		19467	1460.025	1460.000	1460.000			

02章03節…桁数にマイナスの値(負の数)を指定する

(01)一の位以下を切り捨てた結果をF列に表示させます。十円単位にするのです。ROUNDOWN関数を使います。

F3をアクティブにしてからROUNDOWN関数の作成を開始してください。

2. [関数の挿入]よりROUNDOWN関数を選択

1. F3をアクティブに

	A	B	C	D	E	F	G	H
1								
2		購入金額	ポイント	処理0	処理1	処理-1	処理十の位A	処理十の位B
3		15485	1161.375	1161.000	1161.300			
4		702	52.650	52.000	52.600			
5		7850	588.750	588.000	588.700			
6		13635	1022.625	1022.000	1022.600			
7		940	70.500	70.000	70.500			
8		3465	259.875	259.000	259.800			
9		19467	1460.025	1460.000	1460.000			

(02)[数値]は「C3」です。続けて[桁数]を指定します。一の位以下を処理して十の位を残す場合には「-1」を指定します。設定後はOKしてください。なお十の位以下を処理する際には「-2」・百の位以下を処理するなら「-3」になります。

関数の引数

ROUNDDOWN

数値 C3 = 1161.375

桁数 -1 = -1

= 1160

数値を切り捨てます。

桁数 には数値を切り捨てた結果の桁数を指定します。桁数に負の数を指定すると、数値は小数点の左(整数部分)の指定した桁(1の位を0とする)に切り捨てられ、0を指定するかまたは省略されると、最も近い整数に切り捨てられます。

数式の結果 = 1160

[この関数のヘルプ\(H\)](#) OK キャンセル

(03)完成後はコピーしましょう。[桁数：-1]では一の位以下が切り捨て処理されます。

F3	A	B	C	D	E	F	G
		購入金額	ポイント	処理0	処理1	処理-1	処理十の位A
		15485	1161.375	1161.000	1161.300	1160.000	
		702	52.650	52.000	52.600	50.000	
		7850	588.750	588.000	588.700	580.000	
		13635	1022.625	1022.000	1022.600	1020.000	
		940	70.500	70.000	70.500	70.000	
		3465	259.875	259.000	259.800	250.000	
		19467	1460.025	1460.000	1460.000	1460.000	

「12345」を以下の[桁数]で切り捨てると…

- 1⇒12340
- 2⇒12300
- 3⇒12000

02章04節…その他の桁数

(01)B列(購入金額)の十の位以下を処理した値をG列へ表示させます。[桁数]は「-2」になります。マイナスで指定した分だけ「0」が作成されます。G3をアクティブにしてROUNDDOWN関数の作成を開始します。

G3	A	B	C	D	E	F	G	H
		購入金額	ポイント	処理0	処理1	処理-1	処理十の位A	処理十の位B
		15485	1161.375	1161.000	1161.300	1160.000		
		702	52.650	52.000	52.600	50.000		
		7850	588.750	588.000	588.700	580.000		
		13635	1022.625	1022.000	1022.600	1020.000		
		940	70.500	70.000	70.500	70.000		
		3465	259.875	259.000	259.800	250.000		
		19467	1460.025	1460.000	1460.000	1460.000		

1. G3をアクティブに

2. [関数の挿入]よりROUNDDOWN関数を選択

(02)[数値]を「B3」(15485)・[桁数]を「-2」にします。このように[桁数]とは、小数点を基準にしてどの程度離れた部分以下を処理するか、を指定する欄なのです。

G3	A	B	C	D	E	F	G	H	I
		購入金額	ポイント	処理0	処理1	処理-1	処理十の位A	処理十の位B	
		15485	1161.375	1161.000	1161.300	1160.000			
		702	52.650	52.000	52.600	50.000			
		7850	588.750	588.000	588.700	580.000			
		13635	1022.625	1022.000	1022.600	1020.000			
		940	70.500	70.000	70.500	70.000			
		3465	259.875	259.000	259.800	250.000			
		19467	1460.025	1460.000	1460.000	1460.000			

[数値]を「B3」・[桁数]を「-2」に

関数の引数

ROUNDDOWN

数値 B3 = 15485

桁数 -2 = -2

= 15400

数値を切り捨てます。

桁数 には数値を切り捨てた結果の桁数を指定します。桁数に負の数を指定すると、数値は小数点の左(整数部分)の指定した桁(1の位を0とする)に切り捨てられ、0を指定するかまたは省略されると、最も近い整数に切り捨てられます。

数式の結果 = 15400

[この関数のヘルプ\(H\)](#) OK キャンセル

(03)作成した式をコピーしましょう。

小数点から見て左側 2 桁目以下を対象に端数処理がなされました。

	A	B	C	D	E	F	G	H
1								
2		購入金額	ポイント	処理0	処理1	処理-1	処理十の位A	処理十の位B
3		15485	1161.375	1161.000	1161.300	1160.000	15400	
4		702	52.650	52.000	52.600	50.000	700	
5		7850	588.750	588.000	588.700	580.000	7800	
6		13635	1022.625	1022.000	1022.600	1020.000	13600	
7		940	70.500	70.000	70.500	70.000	900	
8		3465	259.875	259.000	259.800	250.000	3400	
9		19467	1460.025	1460.000	1460.000	1460.000	19400	
10								

02章05節…ROUNDOWN 関数とは(概要・らうんど だうん)

数値を切り捨て処理するには ROUNDOWN 関数を使います。

引数には「数値」「桁数」の 2 つ必要です。

ROUNDOWN 関数の書式

=ROUNDOWN(数値,桁数)

…[数値]を指定した[桁数]で切り捨てる。

<引数解説>

数値:切り捨て処理をしたいセル・数値を指定する欄

桁数:小数点以下をすべて処理する場合には「0」を指定(整数化時は 0)。小数点以下の一部を処理する場合には、何桁目の次を処理するのかを数値で指定。整数部(十の位、千の位など)以下を処理する場合には一の位なら「-1」・十の位なら「-2」・百の位なら「-3」のように指定。

	A	B	C	D	E
1					
2		1234.567			
3					
4		桁数	処理後	C 列に入力されている式	例
5		0	1234.000	=ROUNDOWN(B2,B5)	
6		-1	1230	=ROUNDOWN(B2,B6)	
7		-2	1200	=ROUNDOWN(B2,B7)	
8		-3	1000	=ROUNDOWN(B2,B8)	
9		1	1234.500	=ROUNDOWN(B2,B9)	
10		2	1234.560	=ROUNDOWN(B2,B10)	
11					

02章06節…その他の処理方法：切り上げ処理と四捨五入処理

(01)切り上げ時には「ROUNDUP」関数・四捨五入時には「ROUND」関数を使います。

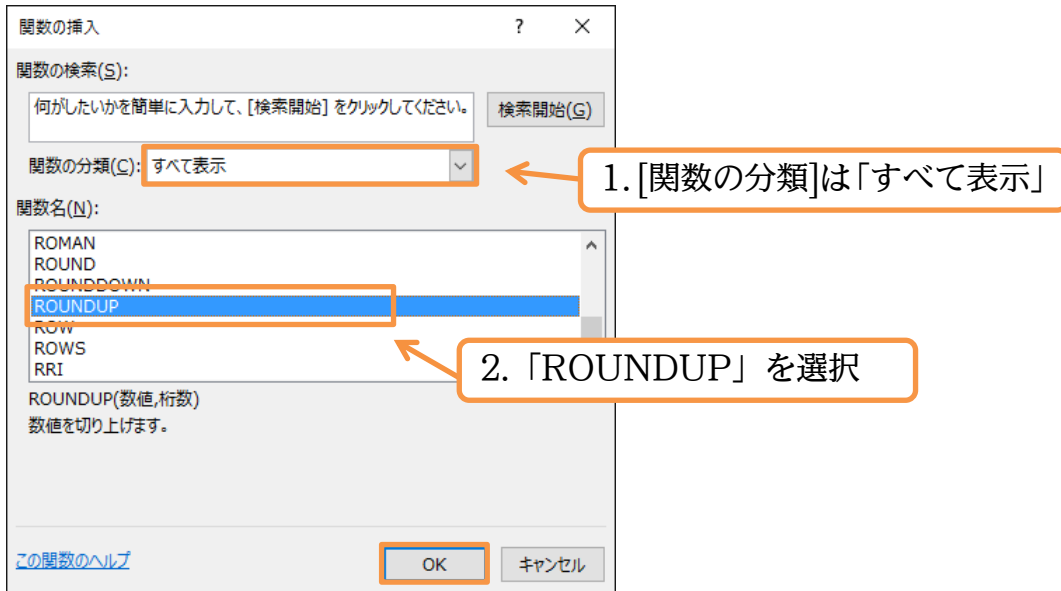
B 列の値を切り上げ処理させた結果を H 列に表示させます。処理させる[桁数]は十の位以下・すなわち「-2」です。H3 で[関数の挿入]を使ってください。

	A	B	C	D	E	F	G	H
1								
2		購入金額	ポイント	処理0	処理1	処理-1	処理十の位A	処理十の位B
3		15485	1161.375	1161.000	1161.300	1160.000	15400	
4		702	52.650	52.000	52.600	50.000	700	
5		7850	588.750	588.000	588.700	580.000	7800	
6		13635	1022.625	1022.000	1022.600	1020.000	13600	
7		940	70.500	70.000	70.500	70.000	900	
8		3465	259.875	259.000	259.800	250.000	3400	
9		19467	1460.025	1460.000	1460.000	1460.000	19400	
10								

2. [関数の挿入]をクリック

1. H3 をアクティブに

(02)「すべて表示」から「ROUNDUP」(切り上げ)を選択してください。



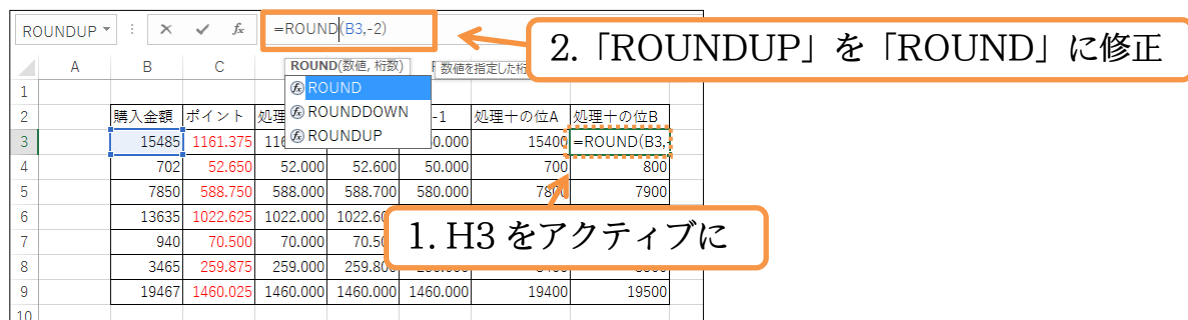
(03)[数値]は「B3」(15485)・[桁数]は「-2」にしてOKしましょう。



(04)作成した式をコピーしましょう。G列(処理十の位 A)では十の位以下を「切り捨て」しましたが今度は「切り上げ」になっています。

	A	B	C	D	E	F	G	H
1								
2		購入金額	ポイント	処理0	処理1	処理-1	処理十の位A	処理十の位B
3		15485	1161.375	1161.000	1161.300	1160.000	15400	15500
4		702	52.650	52.000	52.600	50.000	700	800
5		7850	588.750	588.000	588.700	580.000	7800	7900
6		13635	1022.625	1022.000	1022.600	1020.000	13600	13700
7		940	70.500	70.000	70.500	70.000	900	1000
8		3465	259.875	259.000	259.800	250.000	3400	3500
9		19467	1460.025	1460.000	1460.000	1460.000	19400	19500

(05)ROUND 関数でも試みましょう。「四捨五入」の関数です。H3のROUNDUP関数をROUND関数に修正してください。数式バーで「UP」を削除すればよいのです。



(06)確定してコピーしなおします。「切り上げ」から「四捨五入」に結果が変更されたことを確認してください。完成後はこのファイルを閉じます(必要に応じて保存)。

	A	B	C	D	E	F	G	H
1								
2		購入金額	ポイント	処理0	処理1	処理-1	処理十の位A	処理十の位B
3		15485	1161.375	1161.000	1161.300	1160.000	15400	15500
4		702	52.650	52.000	52.600	50.000	700	700
5		7850	588.750	588.000	588.700	580.000	7800	7900
6		13635	1022.625	1022.000	1022.600	1020.000	13600	13600
7		940	70.500	70.000	70.500	70.000	900	900
8		3465	259.875	259.000	259.800	250.000	3400	3500
9		19467	1460.025	1460.000	1460.000	1460.000	19400	19500
10								

02章07節…ROUNDUP 関数と ROUND 関数(資料)

ROUNDUP 関数は選択したセル・数値を切り上げ処理する関数です。

ROUND 関数は選択したセル・数値を四捨五入処理する関数です。

ROUNDUP 関数の書式

=ROUNDUP(数値,桁数)

…[数値]を指定した[桁数]で切り上げる。

<引数解説>

数値:切り上げ処理をしたいセル・数値を指定する欄

桁数:小数点以下をすべて処理する場合には「0」を指定。小数点以下の一部を処理する場合には何桁目の次を処理するのかを数値で指定。整数部(十の位、千の位など)以下を処理する場合には一の位なら「-1」・十の位なら「-2」・百の位なら「-3」のように指定。

	A	B	C	D	E
1					
2		1234.567			
3					
4		桁数	処理後	C 列に入力されている式	
5		0	1235.000	=ROUNDUP(B2,B5)	
6		-1	1240	=ROUNDUP(B2,B6)	
7		-2	1300	=ROUNDUP(B2,B7)	
8		-3	2000	=ROUNDUP(B2,B8)	
9		1	1234.600	=ROUNDUP(B2,B9)	
10		2	1234.570	=ROUNDUP(B2,B10)	
11					

例

ROUND 関数の書式

=ROUND(数値,桁数)

…[数値]を指定した[桁数]で四捨五入する。

<引数解説>

数値:四捨五入処理をしたいセル・数値を指定する欄

桁数:小数点以下をすべて処理する場合には「0」を指定。小数点以下の一部を処理する場合には何桁目の次を処理するのかを数値で指定。整数部(十の位・千の位など)以下を処理する場合には一の位なら「-1」・十の位なら「-2」・百の位なら「-3」のように指定。

	A	B	C	D	E
1					
2		1234.567			
3					
4		桁数	処理後	C列に入力されている式	例
5		0	1235.000	=ROUND(B2,B5)	
6		-1	1230	=ROUND(B2,B6)	
7		-2	1200	=ROUND(B2,B7)	
8		-3	1000	=ROUND(B2,B8)	
9		1	1234.600	=ROUND(B2,B9)	
10		2	1234.570	=ROUND(B2,B10)	
11					

02章08節…練習問題

(01)次の計算表を作成しましょう。ポイントは7%です。

処理後は整数になるように端数を「四捨五入」します。

	A	B	C	D	E	F
1						
2			単価	ポイント	処理後	
3		商品1	146	10.22	10.00	
4		商品2	228	15.96	16.00	
5		商品3	326	22.82	23.00	
6						

(02)消費税額をD列に算出させます。消費税は8%で計算して端数は切り捨て処理します。

引数[数値]欄に「単価*0.08」と数式を入力するのがコツです。

	A	B	C	D	E
1					
2		商品名	単価	税額	
3		あじ	148	11.0	
4		さんま	103	8.0	
5		あさり	96	7.0	
6					

関数の基本パターンは『=命令(対象)』。
ここでは『=ROUNDDOWN(単価*0.08,0)』
となる。

(03)消費税額を D 列に算出させます。消費税率にはセル G3 の値を採用します。

計算式のコピー前に絶対参照の設定が必要になります。

	A	B	C	D	E	F	G	H
1								
2		伝票番号	購入金額	消費税額	税込金額		消費税率	
3		10001	¥1,560	¥124	¥1,684		8%	
4		10002	¥915	¥73	¥988			
5		10003	¥1,790	¥143	¥1,933			
6		10004	¥2,190	¥175	¥2,365			
7		10005	¥717	¥57	¥774			
8		10006	¥1,520	¥121	¥1,641			
9								

(04)年齢から年代を割り出しましょう。

	A	B	C	D	E	F
1						
2		No.	名前	年齢	年代	
3		1	和泉	67	60	
4		2	遠藤	24	20	
5		3	加藤	61	60	
6		4	坂	50	50	
7		5	庄司	36	30	
8		6	千葉	28	20	
9		7	土屋	43	40	
10						

(05)[割引額]は端数の切り上げをしています。[消費税]は端数の切り捨てをしています。

	A	B	C	D	E	F
1						
2		購入商品	単価	数量	金額	
3		チーズケーキ	¥255	7	¥1,785	
4		アップルパイ	¥350	3	¥1,050	
5		モンブラン	¥275	4	¥1,100	
6						
7			合計		¥3,935	
8			割引率		3.0%	
9			割引額		¥119	
10			小計		¥3,816	
11			消費税率		8.0%	
12			消費税		¥305	
13			総計		¥4,121	
14						

(06)「利益上乗せ後」は「卸値」の 25%増しです(卸値 1 倍+利益 0.25 倍なので 1.25 倍)。

ただし十の位以下を切り上げて百円単位にしています。「販売額」は「利益上乗せ後」を 20 円引きした結果です(これで「¥〇,〇80」という金額が作成できます)。

	A	B	C	D	E	F
1						
2			卸値	利益上乗せ後	販売額	
3		商品1	¥8,457	¥10,600	¥10,580	
4		商品2	¥763	¥1,000	¥980	
5		商品3	¥4,799	¥6,000	¥5,980	
6		商品4	¥13,815	¥17,300	¥17,280	
7		商品5	¥6,924	¥8,700	¥8,680	
8		商品6	¥5,531	¥7,000	¥6,980	
9						